

具体的目標の実施計画表

1 教える行動を決めましょう

自分から気持ちのよいあいさつをしよう。

2 子どもたちに伝える「この行動を学ぶ理由」を考えましょう

- あいさつをすると、自分も相手もいい気持ちになるから
- あいさつをすると自分も相手も元気になるから
- 相手と心がつながり、仲良くなれるから
- 相手の様子が分かるから
- 話がはずんで、友だちのことを知ることができるから
- 進んであいさつをすると周りの人を嬉しい気持ちにすることができ、素敵な自分になれるから

3 指導の方法を考えましょう

- 朝会で、あいさつのいい例や悪い例をロールプレイをする。
- あいさつの「あい言葉」を浸透させる <相手をみて・いいこえで・さきに・つづけて>
- 学級であいさつの練習をする。
 - ・二人組で
 - ・一人一人が順番に（上手くできない子への配慮）
- あいさつ運動をする。（委員会で）
- 声の大きさの基準を示し、掲示する。
- あいさつをする位置を決めて掲示する。
教室に入るとき・・・入り口で（立ち止まってあいさつできるように足型をつける。）

4 褒め方を考えましょう

- 校長先生に朝会で褒めてもらう。
- 結果のグラフを掲示する。
- あいさつ名人を紹介し、表彰する。（あいさつ名人を各学級で選ぶ）

5 子どもたちの行動を記録する方法を決めましょう

- 人数をカウントする。
月に2回程度 6年生（6名）にお願いする。
 - ①自分からあいさつした
 - ②あいさつすると返してくれた
 - ③あいさつをしなかった
- 結果のグラフを掲示する。